

会場

浅草 茶寮「一松」

〒111-0034 東京都台東区雷門 1-15-1



浅草の賑やかな街並みとは対照的に、
駅近ながらも 静かに佇む「茶寮一松」。

【ご昼食】 11:00 ~15:00 (ラストオーダー)



* 事前予約必須

写真はイメージです。

令和 6 年度

白百合染織逸品会

6月28日(金)・29日(土)

10:00 - 18:00 (受付は17:00 まで)

会場：浅草「茶寮 一松」

令和 6 年度

白百合染織逸品会



〒111-0034 東京都台東区雷門 1-15-1

TEL: 03-3841-0333 HP: www.ichimatsu.co.jp

ご挨拶

新緑の候、時下ますますご清祥の段、
お慶び申し上げます。平素はひとかたならぬ
御愛顧を賜り、ありがとうございます。
さて、令和6年度の白百合染織逸品会を開
催いたします。毎回会場となります「一松」
のある浅草も賑わいを取り戻し活気に満ち
溢れています。若い方々も着物をお召しに
なり散策をする姿が目立ちます。日頃ご愛顧
を下さる皆様もぜひとも着物をお召しになり

ご来場いただき、一松のお料理と
染織作家たちの新作の数々を
ご覧いただければ幸甚に堪えません。

白百合染織同人会一同

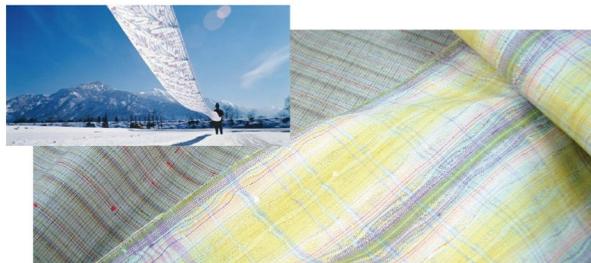
京友禅「染清居」

何人もの染色家がいる上野家で唯一の女性作家である上野街子さんの染める着物は関西よりもむしろ東京で好まれることの多い着物です。



小千谷の縮と紬

十日町の明石縮と紬 / 魚沼の塩沢紬や上布など北国の織物をご紹介します。



「岡重」のバッグ

呉服の裏地からスタートした岡重は異業種へ海外へと進出してゆきます。今回はバッグときものを出品します。



十代目「大文字屋庄兵衛」◎作家来場



西陣で350年以上の歴史を誇る老舗の機屋さんで重厚な作風で品格のあるものつくりを続けています。



米沢「齋英織物」◎作家来場

大正時代に創業した置賜紬の機屋さんです。貴重な「黄金繭」を使用した織物が特長です。



「Mirai」

次世代を担う若い職人たちに、着物の未来を託してというコンセプトの元、色々な技法を尽くしてものつくりを進めました。



「染織楽房」◎作家来場 きものと帯のコーディネート提案

主宰者の吉田有香さんは「SilkYuka」を新ブランドとして立ち上げ、活躍しています。



「シルクギャラリー」◎作家来場

成瀬先生は昨年大きな個展を開き、今年は70歳という節目の年を迎えます。制作に対する意欲に衰えはありません。



作家：成瀬優

東京友禅「大松」◎作家来場

年々その存在が貴重になってゆく東京友禅染の老舗、大松5代目の野口佳嗣氏もまた次世代を担う若い作家のひとりです。



結城紬「小倉商店」

雪ダルマがトレードマークの小倉商店の「本場結城紬」と「石下結城紬」です。



江戸組紐「龍工房」◇組紐の実演◇

帯メと帯揚げに東京に色と配色の妙を組み込んで制作を続けています。現社長のご息子はエルメスなどの異業種ともコラボレーションを続けています。

